

ノーベル物理学賞受賞者

益川敏英氏講演会

東明館中学校・高等学校

2008年にノーベル物理学賞を受賞した益川敏英氏を本校に招き、講演会を開催いたします。

益川敏英氏は、素粒子理論を専門とする理論物理学者で、名古屋大学大学院理学研究科博士課程を修了し理学博士号を取得され、京都大学理学部基礎物理学研究所教授、所長を歴任、1973年に発表した「小林・益川理論」が画期的な理論として注目を集め、2008年、この理論による物理学への貢献でノーベル物理学賞を受賞されました。



写真提供：名古屋大学

日時：平成27年5月20日（水）
13時35分から15時まで

場所：基山町民会館大ホール

対象：東明館学園構成員（本校生徒全員、希望する保護者、教職員等）

講師：益川敏英氏
名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長・特別教授
京都大学名誉教授
京都産業大学益川塾教授・塾頭

演題：「学ぶよろこび・生きる基礎力」